

企業理念

Corporate Philosophy



一本の大きな木を育てるより、多くの個性ある木を育て、美しい森をつくる。

イノアックは「暮らしをもっと豊かにしたい」という思いから、ひとつの事業に特化することなく、ウレタン・ゴム・プラスチック・複合素材という4つの苗をもとに、多くの事業（＝木）を育て、企業体として多彩な製品、サービスを作り出し、社会へ貢献して参りました。

イノアックはこれからも多くの個性ある木を育てることで、時代のニーズにお応えしていきます。

● Innovation&Globalization

イノアックは高分子化学で世界をリードし、迅速な決断と行動で、活気と個性に満ちたグローバル集団を目指します。それと共に「行動指針」を定め、社内外ともに裏表のない行動で「企業理念」を確実に実行・実現することで、地域社会、顧客、イノアックに関わる全ての人々に信頼されるブランドを確立します。

● 行動指針

- 挑戦** 自由に発想し失敗を恐れず行動します。
- CS** 顧客満足度を高めるよう行動します。
- 誠実・信頼** 虚偽を廃し、信頼される行動をします。
- 収益** 継続的な事業発展と利益ある成長を目指し行動します。
- チームワーク** 個性を発揮し、信頼される行動をします。
- 責任** 責任を持って最後まで行動します。

会社概要

Company Overview

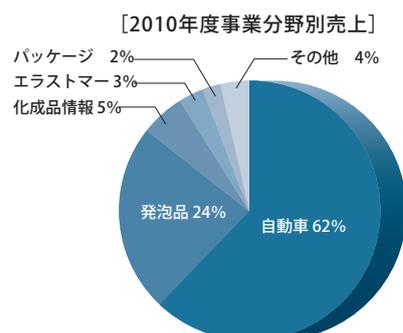


社名	株式会社イノアックコーポレーション INOAC CORPORATION
設立	1954年（昭和29年）
資本金	7億2,000万円
代表	代表取締役 井上聡一
社員数	1437名（2010年12月）
売上高	1684億円（2010年12月）
事業内容	ウレタン、ゴム、プラスチック、複合材をベースとした材料開発とその製品化により、自動車、二輪、情報・IT機器、住宅・建設関連から身近な生活関連商品、コスメ用品まで、様々な場面に密着した製品を取り扱う

本社	〒450-0003 名古屋市中村区名駅南二丁目13番4号
本社(東京)	〒141-0032 東京都品川区大崎二丁目9番3号（大崎ウエストシティビル4F）
事業所	安城事業所、桜井事業所、船方事業所、新城事業所、八名事業所、豊橋工場、武豊工場（愛知県）、南濃事業所（岐阜県）
主要営業拠点	営業本部、東京支店、中部支店、大阪支店、九州支店、札幌営業所、東北営業所、浜松営業所、広島営業所
研究所	株式会社イノアック技術研究所（神奈川県）
海外拠点	北米、欧州、中国、韓国、東南アジア

売上

Sales



ネットワーク

国内主要拠点

株式会社イノアックコーポレーションの全国ネットワークに加え、系列・関連・合併会社が北海道から九州に至るまで緊密な生産・販売ネットワーク体制を確立し、最適なソリューションを提供しています。



井上護謨工業 (株)
(株)イノアックインターナショナル
(株)イノアック技術研究所

系列製造会社：6社

(株)北海道イノアック
(株)東北イノアック
(株)東日本イノアック
イノアックエラストマー(株)
(株)西日本イノアック
(株)九州イノアック

合併会社：5社

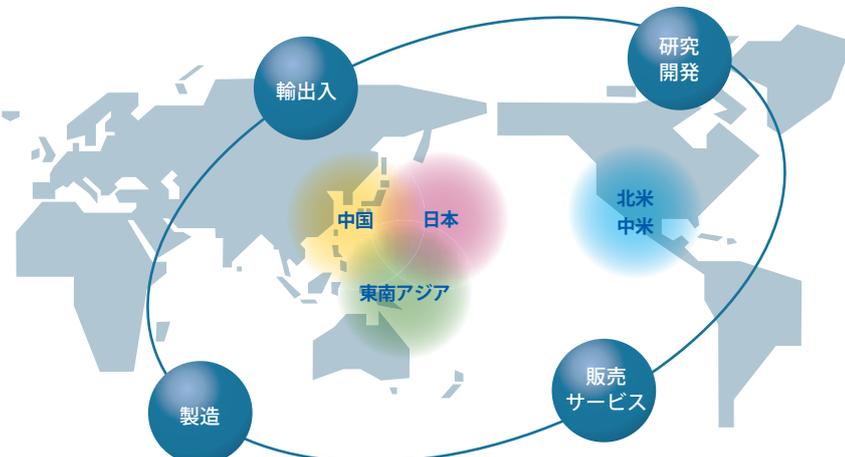
BASF INOAC ポリウレタン(株)
(株)ロジャースイノアック 他

関連会社：約30社

日本フクラ(株)
(株)イノアックリビング
イノアック特材(株) 他

海外主要拠点

北米・アジアを中心として、全世界14の国と地域で研究開発から素材の加工・成型技術、量産化までを提案・提供する体制を構築しています。



北米：16社

アメリカ：11社
カナダ：2社
メキシコ：3社

アジア：23社

タイ：12社
台湾：3社
インドネシア：2社
ベトナム：2社
韓国：1社
シンガポール：1社
フィリピン：1社
マレーシア：1社

中国：23社

中国本土 22社
香港 1社

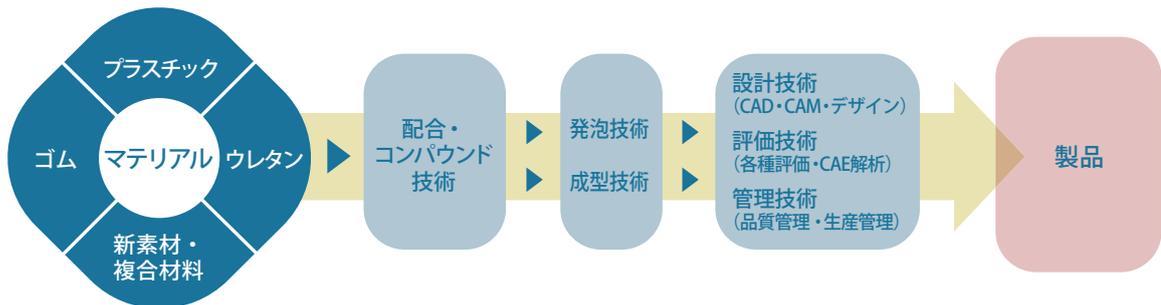
技術革新

Technical innovation



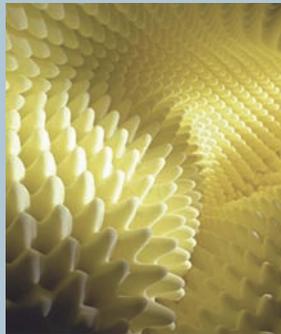
研究開発

イノアックでは「暮らしを豊かにする」をモットーに、未来を見据え、創造性にあふれた研究開発に取り組んでいます。ポリマーを主体として各種ウレタンフォーム、プラスチックやエラストマー、その複合材料の技術を駆使し、自動車産業をはじめ情報通信・電子機器・産業資材・生活用品等の幅広い分野で常に新しい素材を提供しています。また同時に、環境負荷の軽減化、軽量化、省エネルギー化、高機能化の新製品、新プロセスの研究・開発を進めています。



高機能ポリウレタン材料の開発

ポリウレタン樹脂の特徴である独特な反応機構と、それによってもたらされる幅広い変性技術を習得し、各種ポリウレタン製品の付加価値の向上と、その特徴を有した新しい応用製品の開発を行なっています。



ゴム素材、タイヤの開発

ゴム・エラストマー材料の分子設計、各種添加剤、他材料との複合効果の研究を通じ、各種工業用ゴム製品の性能向上や、新しいニーズに対応した製品の開発を手掛けています。



機能性プラスチック製品の開発

汎用樹脂、エンジニアリングプラスチック、スーパーエンジニアリングなど、各種樹脂材料の特徴を把握し、要求ニーズにマッチした材料を適切に選択できる知見をベースとして、各種素材の組み合わせによる物性変化について研究し、新規分野の可能性に挑戦しています。



各種高分子材料による新規用途開発

高分子知識や加工技術の応用により、エレクトロニクス、情報機器、自動車、住宅などの用途に向けて、新しく提案できる製品の開発を行っています。





研究体制

期待を超えるものづくりの実現のため、産業界の先端領域における新素材の開発を核に、環境技術、ナノ技術、安全技術についての重点的な取り組みをイノアックグループのR&D部門である株式会社イノアック技術研究所で担っています。イノアック技術研究所は中国（ITC CHINA）やアメリカ（ITC USA）にも拠点をもち、3極で作用しあえる総合R&D部門としてグローバルなネットワークで国内外の新技術に関する情報をいち早く収集し、中・長期的視点から、新規事業主体の研究開発に取り組んでいます。

またイノアックコーポレーション技術開発部にあるウレタン、樹脂・エラストマー、ゴム、プロセス各部門の技術部ではマーケットニーズに直結した技術開発に取り組み、短・中期的視点から、各部門の連携により幅広い素材の選択肢を活かした既存事業分野主体での技術開発を行っています。



ITC JAPAN
(株式会社イノアック技術研究所)



ITC CHINA
(蘇州井上高分子新材料有限公司)



ITC USA
(INOAC USA INC.)